



文京区
シンボルマーク



区報 ふんきょう

令和3年 (2021) **5/24**

発行/文京区
編集/資源環境部リサイクル清掃課
〒112-8555 文京区春日1-16-21
代表 ☎ (3812) 7111
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

▲区制70周年を契機に制定した区のシンボルマークです。

「文京区一般廃棄物処理基本計画」特集号

「文京区一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)」 (令和3年度～令和12年度)を策定しました

家庭ごみ1人1日**89g**減らそう!

本区が収集したごみ量は、平成元年度をピークにして、年々減少していましたが、人口増加等の影響により、令和元年度は前年度比約545トン(区民1人当たり年間約2.4kg)の増量となりました。

私たちは、より一層、ごみ減量に向けて3Rを実践していく必要があります。この機会に改めて「ごみ」について考えてみませんか?

文京区一般廃棄物処理基本計画とは

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に位置づけられる一般廃棄物処理基本計画のことです。リサイクル清掃事業における課題を整理し、今後の計画目標や施策などを明示しています。

平成28年3月の「文京区一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)中間年度見直し版」改定以降、国の指針改定や社会情勢の変化に対応し、より一層のごみ減量や資源化促進、適正処理を推進し、「区民が安心して暮らせる循環型社会の実現」を目指すため、計画を策定しました。

問リサイクル清掃課 ☎(5803)1135



ごみ収集車

東京23区内に清掃工場は21工場あるけど、文京区には清掃工場がないんだよ。だから、他区にある清掃工場に運び込んで焼却しているんだ。

文京区の主な可燃ごみ
搬入先(令和2年度)

- 中央清掃工場 (中央区)
- 港清掃工場 (港区)
- 北清掃工場 (北区)
- 新江東清掃工場(江東区)
- 足立清掃工場 (足立区)



文京区3R推進キャラクター リサちゃん

埋立作業が行われている新海面処分場は23区最後の埋立処分場で、このままだと、あと50年しかもたないらしいの。

それは大変!



文京区3R推進キャラクター イクルちゃん

将来にわたり、自分たちのためにも、何とかごみを減らして、埋立処分場が少しでも長く使えるようにしていこう!

基本理念

区民が安心して暮らせる循環型社会の実現 ～私たちのために、世界のために、そして未来のために～

私たちは、物質的に恵まれた暮らしを享受する反面、大量の食品ロスを生み出し、便利に使われたプラスチックが海洋汚染を引き起こすなど、廃棄物問題が世界的な課題となっています。私たちが循環型社会を実現することは、世界につながっています。そして、私たちが享受している豊かさは、将来世代のニーズも満たすよう継承していかなければなりません。

基本方針

基本方針 1

区民・事業者・区が協働で取り組む2Rの推進

リデュース(発生抑制)とリユース(再使用)の2Rをリサイクル(再資源化)に先立って推進します。

区民・事業者が不要物を断りやすい環境を整備するとともに普及啓発に努めます。

基本方針 2

環境負荷低減効果を考慮したリサイクルの推進

2Rの取組を行った上で排出された不用品については、リサイクルを推進します。

また、区がリサイクルシステムを整備する際には、環境負荷の低減効果とそれに係る経費を考慮してリサイクル施策を実施します。

基本方針 3

安全・安心な適正処理の確保

区は、リサイクルを行った上で排出されたごみについては、速やかに収集し、東京二十三区清掃一部事務組合において23区共同で中間処理を行ってごみを減容化した上で、東京都の最終処分場に埋め立てる必要があります。

今すぐ始めよう! 3Rのすすめ

3R(スリーアール)とは?

リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)のことで、ごみを減らし、資源を大切にす3つのキーワードです。

その中でも、**2R(リデュース・リユース)**を優先し、まずは、**ごみを出さない**ように取り組みましょう。

STEP 1 リデュース Reduce

ごみになるものを減らすこと



STEP 2 リユース Reuse

繰り返し何度も使うこと



STEP 3 リサイクル Recycle

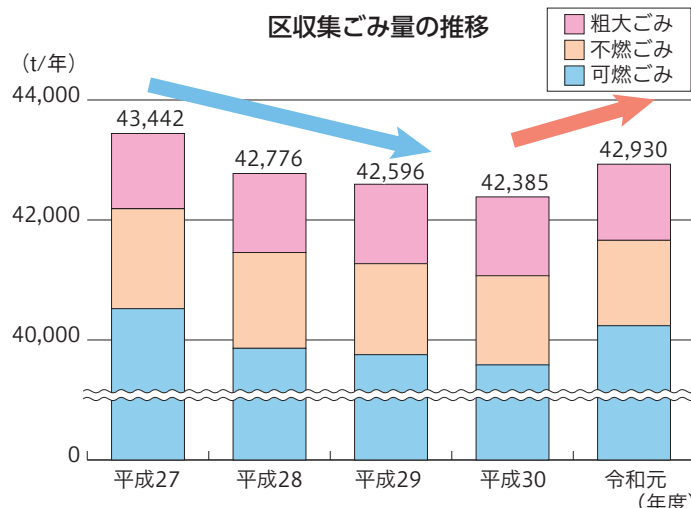
もう一度資源として使うこと



ごみ排出の現状

区収集ごみ量の推移

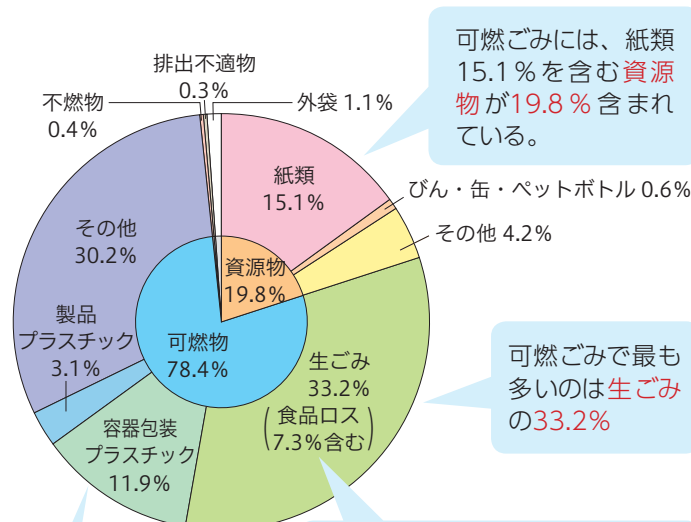
区収集ごみ量は平成27年度から平成30年度にかけて減少していましたが、令和元年度は前年度より増加しました。 ※区が収集する「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「粗大ごみ」の合計値のこと



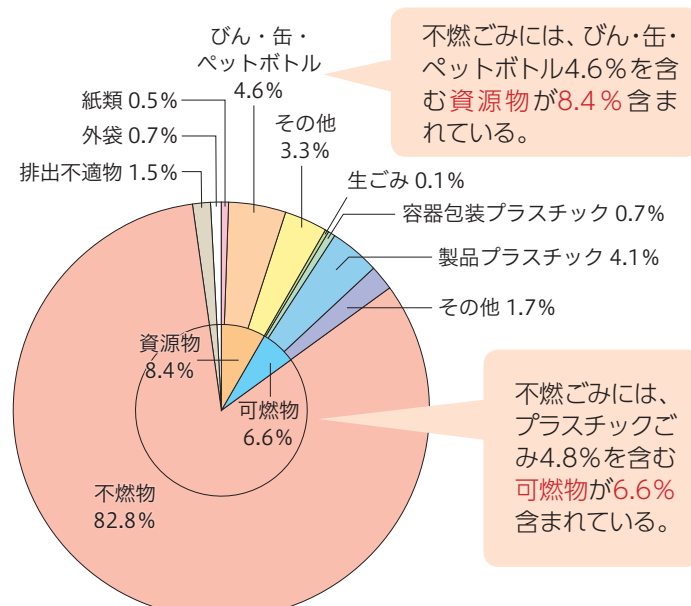
組成分析調査結果

令和元年度の調査で、家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみの組成割合を調べました。前回(平成26年度)の調査と比べて、ごみに含まれる資源物の量の割合は減少していますが、より一層の分別の徹底が必要です。

〈可燃ごみ〉



〈不燃ごみ〉



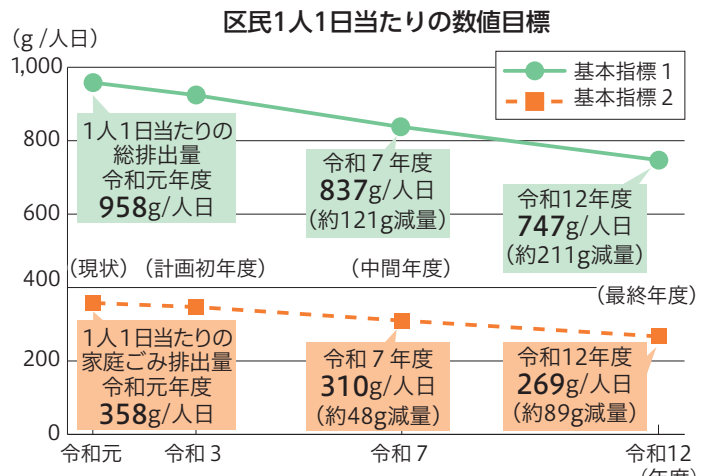
計画の目標

区民一人ひとりの努力の総体が反映されるように、ごみ総量による減量目標ではなく、区民1人1日当たりの数値目標として次のように設定します。

基本指標 1
区民1人1日当たりの **総排出量***1 **211g 減量**
(令和元年度比)

基本指標 2
区民1人1日当たりの **家庭ごみ排出量***2 **89g 減量**
(令和元年度比)

※1 区収集可燃ごみ量+区収集不燃ごみ量+粗大ごみ量+持込ごみ量+区が収集もしくは関与する家庭系リサイクル量
※2 (区収集可燃ごみ量×家庭ごみの割合)+(区収集不燃ごみ量×家庭ごみの割合)+粗大ごみ量



施策の体系

計画目標を達成するため、次の施策に取り組みます。

- 区民を対象とした普及啓発・協働の推進**
 - (1) 情報の提供
 - (2) イベント等の開催や環境学習の場の提供
 - (3) 地域活動団体等との連携
- 事業者を対象とした普及啓発・協働の推進**
 - (1) 情報の提供
 - (2) 事業者との連携
- 家庭系の3Rの推進**
 - (1) リデュース(発生抑制)の推進
 - (2) 生ごみ減量活動の推進
 - (3) モノを長く使うライフスタイルの促進
 - (4) リユース(再使用)の推進
 - (5) 集団回収の推進
 - (6) 資源回収の推進
- 事業系の3Rの推進**
 - (1) 大規模・中規模事業所の3R推進
 - (2) 小規模事業所の3R推進
 - (3) 区の優先した取組の推進
- 適正処理の推進**
 - (1) 適正な収集体制の維持
 - (2) 区で収集しない廃棄物への対応
 - (3) 適正排出の推進
 - (4) 事業系ごみの自己処理の促進
 - (5) 中間処理・最終処分
 - (6) 災害時の対応
 - (7) 感染症発生時の対応
- 運営管理体制の充実**
 - (1) 双方向の情報交換と区民参画
 - (2) 国等への要望
 - (3) 行政内部での連携
 - (4) 処理費用負担の検討
 - (5) 情報の公開

目標達成のための具体的施策

より一層ごみを削減し、計画目標を達成するため、下記の2点を「重要施策」と位置づけ、取り組みます。

食品ロス削減推進計画

食品ロスとは
買い過ぎ・期限切れ・食べ残し・過剰な切除(野菜の皮など)等により、本来食べられたはずなのに廃棄されてしまう食品のこと。

計画の背景

世界	人口が急増し、飢えや栄養不足で苦しんでいる人が多数いる一方、廃棄物の処理に多額の費用がかかっています。SDGs(持続可能な開発目標)において、平成12年度と比較して令和12年度までに 世界の食品ロス発生量を半減 するという目標が掲げられています。
国内	食品ロス量は、年間約612万トン(平成29年度農林水産省推計)であったとされ、国民1人1日当たり、お茶碗一杯分のごはんに相当します。その一方で、食料自給率は37%(平成30年度カロリーベース)で、その多くの食料を輸入に依存しています。令和元年10月には、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。また、東京都は「ゼロエミッション東京戦略」において、 令和12年までに食品ロス発生量を平成12年度比50%削減 を目標としています。
文京区	令和元年度に実施した家庭ごみ組成分析調査結果から、家庭から出る可燃ごみのうち、食品ロスが7.3%を占めており、ごみ減量の視点から食品ロスの削減が重要であり、次のように基本指針と目標値を設定しました。

基本指針 一人ひとりが食品ロスを減らす大切さを理解し、行動する ~明るく楽しく果敢に取り組む、食ロス対策~

本区では、令和元年度に実施した調査結果から、家庭ごととして排出された食品ロスの量を、区民1人1日当たり24.3gと推計しており、令和元年度を基準に毎年約2%削減することで、中間年度の令和7年度には約10%、最終年度の令和12年度には約20%削減することを目指します。

令和12年度に約20%削減(令和元年度比)
区民1人1日当たりの食品ロス発生量4.9g 減量
1か月(30日)に換算すると、区民1人当たり約147gの減量を目指すことになります。

「147g」と同じくらいの重さの食品の目安例
納豆3個パック ジャガイモ1個 トマト1個 人参1本 ごはん1杯

具体的な施策

- ① 区の優先した食品ロス削減の取組の推進
- ② 食品ロス削減を促進するための仕組みづくり
- ③ 情報収集と普及啓発

(施策例)

- **フードドライブの実施(自宅訪問受取サービスの実施)**
家庭で余っている未利用食品を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設などに寄付するボランティア活動のことです。窓口やイベントでの回収のほか、着払い伝票を活用した「自宅訪問受取サービス」を実施します。
- **ぶんきょう食べきり協力店の紹介**
区内で、小盛メニュー、量り売りやばら売りなど、食べ残し対策に取り組む店舗を「ぶんきょう食べきり協力店」として登録し、区ホームページやリフレット等で区民に取組を紹介し、食品ロスの削減を図ります。
- **各種イベント等での普及啓発の実施**

家庭から発生する食品ロスを減らすために

- ★ 使い切れる分だけ買う
必要なモノを必要なときに必要な分だけ買いましょう。買物前に冷蔵庫内を確認するなど計画的に買物をしましょう。
- ★ 食材をムダなく使う
必要以上にむき過ぎず、食べられる部分はできる限り無駄にしないように調理しましょう。
- ★ 残さず食べる
家族の予定や食べられる量を確認し、作り過ぎないようにしましょう。
- ★ どうしても使い切れない食品は、フードドライブを活用しましょう。

自分にあった食品ロス削減レシピが見つかるかも?!
料理レシピサイト「クックパッド」に掲載「消費者庁のキッチン(公式サイト)」
検索してみよう

消費者庁のキッチン

プラスチックごみの削減の推進

海洋プラスチックごみ問題とは
不適正に廃棄されたプラスチックが雨・風などにより河川から海に流出し、海洋プラスチックごみとなり、海洋汚染や生態系に大きな影響を及ぼしている問題のこと。

計画の背景

世界	令和元年6月のG20大阪サミットで、 海洋プラスチックごみによる新たな汚染を令和32年までにゼロ することを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。
国内	令和元年5月、プラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略「プラスチック資源循環戦略」が策定されました。この戦略では、目標として、 令和12年までにワンウェイ(使い捨て)プラスチックを累積25%排出抑制 、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクルする、などを掲げています。また、東京都は「ゼロエミッション東京戦略」において、令和12年度までに、家庭と大規模オフィスビルから排出されるプラスチックごみの焼却量を平成29年度比で40%削減することを設定しました。
文京区	令和元年度に実施した家庭ごみ組成分析調査結果から、家庭から出る可燃ごみのうち、容器包装プラスチックが11.9%、製品プラスチックが3.1%を占めています。本区は、大部分のプラスチックごみをサーマルリサイクルしていますが、プラスチックごみの削減を推進するため、次のように基本指針と目標値を設定しました。

基本指針 プラスチックの使用を減らすライフスタイルへの転換

本区では、令和元年度に実施した調査結果から、家庭ごととして排出されたプラスチックの量を、区民1人1日当たり59.3gと推計しており、令和元年度を基準に毎年約2.5%削減することで、中間年度の令和7年度には約12.5%、最終年度の令和12年度には約25%を削減することを目指します。

令和12年度に約25%削減(令和元年度比)
区民1人1日当たりのプラスチックごみ発生量14.8g 減量
身近なプラスチックがどのくらいの重さがあるか把握するところから始めてみましょう。

重さの目安	食品トレイ (20×10cm) 4g	ペットボトル (500ml) 24g	ボディウォッシュ ボトル容器 (530ml) 45g	食品ラップ (30×40cm) 4g	お弁当(蓋つき) (23×17×4cm) 14g	レジ袋(サイズ) (39×49cm) 5g
-------	--------------------	--------------------	----------------------------	--------------------	--------------------------	-----------------------

※製品によって重さが異なる場合があります。

具体的な施策

- ① 区の優先したプラスチックごみ削減の取組の推進
- ② プラスチックごみ削減を促進するための仕組みづくり
- ③ 情報収集と普及啓発
- ④ プラスチックの分別回収

(施策例)

- **拠点回収の周知・啓発**
啓発紙やSNS等で拠点回収の周知・啓発を行います。
- **事業用大規模・中規模建築物の所有者への指導・啓発**
事業用建築物の所有者に対して、講習会等を通じて先進的な取組事例の紹介や普及啓発を行います。
- **容器包装プラスチックの分別回収の検討**

家庭から発生するプラスチックごみを減らすために

- ★ 使い捨てプラスチック製品をなるべく使わないようにしましょう。
- ★ 外出時には、マイバッグ・マイボトルなど持参しましょう。
- ★ 詰め替えができる製品やリターナブル容器をなるべく選択しましょう。
- ★ プラスチックごみが散乱しないよう、ルールを守り、適正に廃棄しましょう。
- ★ ペットボトル、食品トレイ、プラスチック製容器ボトルは、きちんと分別し、資源としてリサイクルしましょう。

できることから始めてみよう

エサと間違え食べてしまう

マイクロプラスチック

レッツダイエット！家庭ごみ1人1日89g減らそう！

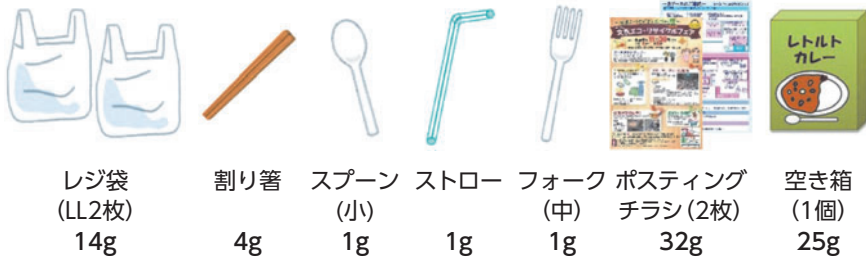
令和12年度に「区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量」を269g(基本指標2の最終目標値)にするためには、**区民1人1日当たり89gのごみを減らす**必要があります。毎日できることから続けて減らしていくことが大切です。

《取組例 その1》

もらわないようにする

資源回収に出す

拠点回収に出す

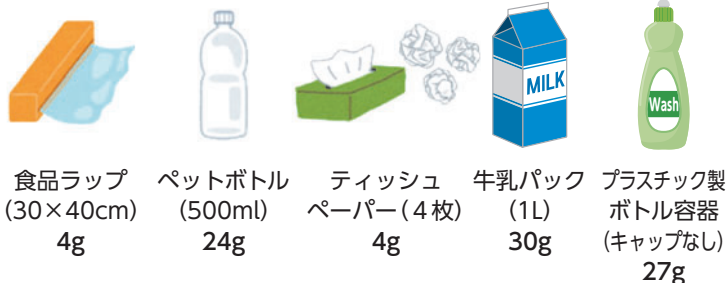


レジ袋 (LL2枚)	割り箸	スプーン (小)	ストロー	フォーク (中)	ポストイング チラシ(2枚)	空き箱 (1個)
14g	4g	1g	1g	1g	32g	25g

《取組例 その2》

使う量を減らす

拠点回収に出す



食品ラップ (30×40cm)	ペットボトル (500ml)	ティッシュペーパー (4枚)	牛乳パック (1L)	プラスチック製 ボトル容器 (キャップなし)
4g	24g	4g	30g	27g

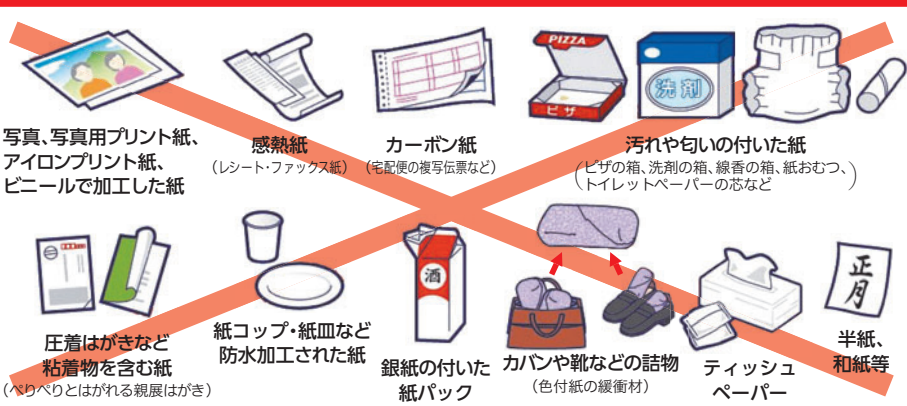
雑がみは、混ぜれば「ごみ」、きちんと分ければ「資源」になります！

令和元年度の組成分析調査では、可燃ごみの15.1%にリサイクルできる紙類が混ざっていました。新聞・雑誌・段ボール・紙パックだけでなく、身の周りの包装紙・紙袋・お菓子やティッシュの空き箱なども「雑がみ」として分別すれば、資源としてリサイクルすることができます。「ごみ」として出してしまう前に「雑がみ」を分けて、週1回の資源の日に出しましょう！

「雑がみ」ってどんな紙？



注意！ これらの紙は「雑がみ」ではありません。可燃ごみに出しましょう。



生ごみの水切りにご協力を

文京区の家庭から出る可燃ごみのうち、約3分の1が「生ごみ」です。生ごみの約80%は、水分と言われています。生ごみの水を切ることでごみの減量へとつながります。

水切りのメリット

- ニオイの軽減…水分は嫌なニオイの原因になります。しっかり水を切れば、生ごみのニオイの発生を抑えることができます。
- CO₂排出抑制…生ごみが燃えやすくなるため、CO₂発生量が削減でき、燃やす時間と経費の削減にもつながります。

水切りのコツは3つ！

- ①まずは濡らさない
 - ②ギュッとしぼる
 - ③できれば乾かす
- 水分が少ないと、ごみ出しも楽だよ！



野菜くずなど水分の少ない生ごみをできるだけ濡らさないように、チラシで作った紙箱を用意すると便利です。



▲紙箱の作り方

例えば、文京区の生ごみ量は年間約9千トンと推計されているから、みんなが生ごみを『ギュッ！』とひと絞りして、生ごみ量の重さを10%減らせば…年間約5,400万円のごみ処理経費が削減されるよ！



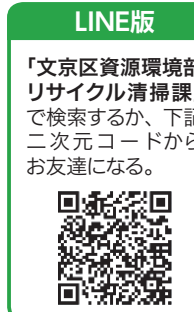
(資料：令和元年度文京区家庭ごみ組成分析調査、文京区のリサイクルと清掃事業2020(令和元年度事業実績)のデータをもとに試算)

ご存知ですか？

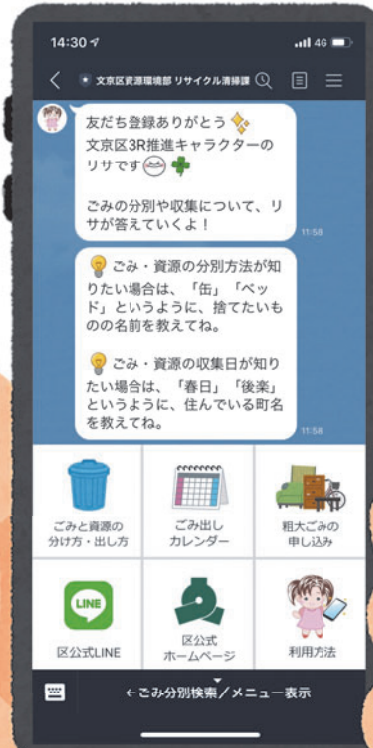
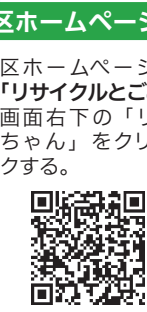
チャットボットによる

「ごみ分別案内サービス」

これって何ごみ？



収集日はいつ？



「文京区一般廃棄物処理基本計画」冊子

行政情報センター(シビックセンター2階)で販売しています(1,370円)。なお、計画の全文は、リサイクル清掃課・行政情報センター・図書館・区ホームページ(右記二次元コード)でご覧いただけます。

